

# CAN DO

## “可能性への挑戦”



第68号



金田会計事務所通信

### 【 将来のための努力 】

フランスの強豪パリサンジェルマンが来日し、メッシやネイマールらスーパースター軍団のプレーは予想以上に圧倒的でした。特に“マラドーナ2世”と呼ばれるメッシは35歳という年齢を感じさせないプレーで日本のファンを魅了しました。史上最多のバロンドール7回受賞などサッカー史上最高の選手の本当の凄さについては素人の私にはわかりませんが(年俸4,100万ドル:55億円がすごいというのはよくわかります)、少年時代の病により身長が伸びないハンディを乗り越えた彼の努力はすさまじいものだったと思います。

現在、様々な会に所属していますが、会の方針がなかなか決まらなかったり、その場で決まったことが何らかの理由により実行されないことに最近では悩まされています。単なる1委員なら「またか」とうんざりするくらいですが、中心となる役職者だとそうはいきません。任期が終わるまで前例踏襲、現状維持でもいいのかもしれませんが、会の将来のためにできる努力をしなければなりません。話が進まないの連絡を取ると「どうします？」という返事。「やると決まったんだからやるんですよ」と少し声を荒らげてしまうことも増えてきました。

確かにボランティアのような仕事に対して、自分の本業が忙しいことや今のコロナの環境で困難な状況が続いているなどの事情は正直私自身もよくわかります。ただ何もしないのと行動するのとでは将来において全く違います。また一方、傾向としてなかなか動かない人とすぐに反応してくれる人とに分かれ、それは本人の事業の成功度合いに比例していると感じるのは非常に興味深いことです。口先ばかりですぐに賛成しても、後になっていろいろな事情を言ってこられると次にお願しようという気は起りません。すぐに行動してくれる人と一緒に会の運営をしていこうということになってしまいます。これは仕事においても同様で私自身への戒めとなっています。

最後にメッシは次のような素晴らしい言葉を語っています。

「努力すれば報われる？ そうじゃないだろう。報われるまで努力するんだ。」



金田 康良

2022年 8月



# 最新クラウド会計

前回(第 64 号、2021 年 7 月)のクラウド会計紹介記事から 1 年が経過しましたので、最新のクラウド会計情報をお伝えします。

## 【前回のコンテンツ】

ご興味のある方は、担当者を通じてご連絡くださればアーカイブ版(PDF)をお送りします。

- ◆ クラウド会計とは
- ◆ なにができるの？
- ◆ メリット・デメリット
- ◆ こんな事業所にオススメ

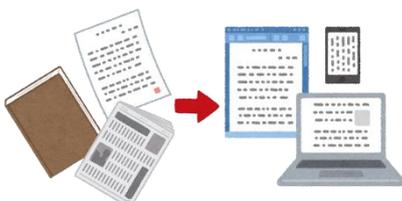


## 【クラウド会計の最新動向】

SaaS とよばれる、クラウド型サービスは進歩がめざましく、日々新しいサービスがリリースされていますし、同じサービス内でも機能追加が頻繁に行われています。ここでは、会計ソフトそのものと、その周辺サービスについてご紹介します。

### ◆ 会計ソフト

- クラウド型のサービスは変わらず、free 会計とマネーフォワードクラウド会計が二大サービスです
- オンプレミス型(インストール型)も変わらず弥生会計が最大シェアとなっています
- 新しく注目されてきているのは、紙の証票や一次データを仕訳に変換してくれるサービスです。そのサービスに領収書や銀行通帳、請求書などをアップすると、人力または AI-OCR などを使って仕訳にして納品してくれるので、それを自社の会計ソフトにインポートする、と言うものです。
  - ◇ STREAMED(ストリームド、紙の証憑を仕訳にするのが得意)
  - ◇ HAYAWAZA(エクセルなどのデータを仕訳にするのが得意)
  - ◇ 弥生の証憑データ化サービス(会計事務所を通す必要がある、紙の証憑を仕訳に変換し、弥生会計に直接流し込んでくれる)
- データ化サービスを利用するメリット
  - ◇ 仕訳入力の手間が省ける
  - ◇ パートさんや外注者などに業務の一部を委託できる
  - ◇ データ化サービス内に仕訳ルールが蓄積されるので、ノウハウが流出せず、入力担当者の退職などが発生しても引き継ぎの必要がない



## ◆ 会計の周辺ソフト

### ➤ 請求書発行サービス

- ◇ 請求書発行について、細かい設定ができ、品目などの明細をマスタ化できるので管理が容易になる
- ◇ 請求書発送について、郵送、メール添付、電子インボイスなど対応形態が幅広い
- ◇ 請求書発行時に仕訳が会計ソフトへ連動するため、売上の仕訳を改めて会計ソフトへ入力する必要がない
- ◇ 主なサービス
  - ・ BtoB プラットフォーム
  - ・ Misoca
  - ・ Board



### ➤ 受取請求書の管理サービス

- ◇ 受け取った請求書をデータとして読み込み、管理できる
- ◇ 読み込んだ受取請求書は、人力または AI-OCR でデータ化される
- ◇ 紙、大きさ、PDF など様々な形態に対応
- ◇ データ化された明細を会計ソフトへ連携させるため、改めて仕訳入力を行う必要がない
- ◇ 主なサービス
  - ・ BillOne
  - ・ バクラク
  - ・ LayerX

### ➤ 勤怠・給与計算・人事労務サービス

- ◇ 会計ソフトへ連動しているので給与台帳を改めて仕訳にする必要がなくなる
- ◇ 勤怠 → 給与計算 → 年末調整、といったように最初から最後までサービスを連携させることが重要
- ◇ 実は人事労務系のクラウドサービスは工数削減や業務効率化を実感しやすい分野
- ◇ 主なサービス
  - ・ ジョブカン
  - ・ SmartHR
  - ・ King of Time など多数



### ➤ その他

- ◇ 経費精算
  - ・ エクセルや紙で従業員立替を精算している会社が多いが、これをクラウドにあげてしまい、交通費経路の検索や領収書の添付などをスマートフォンから申請できるようにする
  - ・ freee 会計やマネーフォワードクラウド会計などのように会計ソフト内に経費精算の機能をもっているものもある
  - ・ 別途契約し、会計ソフトに連動させることもできる
- ◇ クラウドストレージ
  - ・ 会計事務所との証憑のやりとりをクラウドストレージ内で行う
  - ・ 郵送やメール添付の手間が省ける
  - ・ 決算申告書、確定申告書なども PDF でストレージ内で受取れる

## 【クラウド会計導入時のキモ】

より発展的にクラウド会計を導入する時のポイントは以下の2つです。

### ◆ 周辺業務との連携を視野に入れる

- 従来の会計ソフトは、仕訳を入力 → 試算表で経営判断、というのがその使い道でしたが、これからの会計ソフトは、「会社の中の様々な数字を会計ソフトへ集めてくる」という考え方に立つべきです  
例) 売上管理、債権管理のシステム(エクセルのようなものでもよい)を会計ソフトへ流し込む  
例) 経費精算のシステムを会計ソフトへ連携する

### ◆ 外部システムとの連携ができるものを選択する

- 今使用している各種サービスを会計ソフトへ連携させられないかを検討し、連携できる会計ソフトを選択する
- 今使用している各種サービスが会計ソフトに合わないなら、既存のサービスの方を変更してしまう

## 【まとめ】

クラウド型の会計ソフトも、その周辺の SaaS もどんどんと新しいものがリリースされています。このクラウド会計にあの機能がないから、と求めていたら次の月には欲しかった機能が追加された、ということは頻繁に起こります。

クラウド会計や周辺のサービスを選択する際は、そのベンダーの企業理念、思想をよく見てください。考え方が自社と一致するならそのプロダクトを選択されることをおすすめします。思想が一致していればいずれは欲しい機能をリリースしてくれる可能性が高いからです。

金田会計事務所は、「皆様の会社の実現したいこと」を一緒に考え、実行していきたいと思っております。まずはご相談ください。一緒に変わっていきましょう。

(文責:尾崎)

気さくで、信頼できる頼もしい顧問税理士として税務・経営・経理の相談、指導等により企業活動へのサポートを行っています。お気軽にご相談下さい。



金田会計事務所 〒541-0052 大阪市中央区安土町3丁目2番14号 イワタニ第二ビル10階  
TEL (06)6264-3328 FAX (06)6264-3329  
E-Mail : info@kaneda-kaikei.com URL : http://kaikei.asia/